

観点別評価、体育は3観点を維持したい
佐藤豊先生(桐蔭横浜大学スポーツ科学部 教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

(ご紹介)



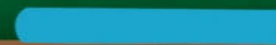
佐藤 豊

さとう ゆたか

桐蔭横浜大学
スポーツ科学部 教授
学部長

筑波大学体育専門学群卒業
横浜国立大学大学院教育学研究科修士課程修了

高等学校保健体育科教員として勤務の後、
神奈川県教育委員会指導主事、文部科学省教科
調査官(体育担当)、鹿屋体育大学教授を経て
2016年に桐蔭横浜大学へ



「体育分野の主体的に取り組む態度」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校編・中学校編）



小学校編		中学校編	
国語 (PDF) 5.47MB	社会 (PDF) 6.62MB	国語 (PDF) 4.33MB	社会 (PDF) 8.34MB
算数 (PDF) 4.89MB	理科 (PDF) 3.53MB	数学 (PDF) 3.62MB	理科 (PDF) 4.37MB
生活 (PDF) 3.40MB	音楽 (PDF) 3.68MB	音楽 (PDF) 8.20MB	美術 (PDF) 3.56MB
図画工作 (PDF) 4.68MB	家庭 (PDF) 4.90MB	保健体育 (PDF) 5.21MB	技術家庭 (PDF) 6.87MB
体育 (PDF) 4.86MB	外国語 (PDF) 3.55MB	外国語 (PDF) 3.85MB	総合的な学習の時間 (PDF) 3.84MB
総合的な学習の時間 (PDF) 3.96MB	特別活動 (PDF) 8.97MB	特別活動 (PDF) 3.20MB	

評価事例&評価規準例が満載！
新3観点の学習評価
完全ガイドブック



桐蔭横浜大学 スポーツ科学部
学部長 教授 佐藤 豊

九州体育・保健体育ネットワーク研究会
<https://kyushunet.com/?from=m>

No286



「主体的に学習に取り組む態度」 の評価をどう考えるか？

（次期学習指導要領改訂に向けた二観点評価の提案）

西岡加名恵先生
（京都大学大学院教育学研究科 教授）

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」（基本的に毎週水・土に配信しています）

それではご覧ください

「体育分野の主体的に取り組む態度」

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校編・中学校編）



小学校編		中学校編	
国語 (PDF 5.47MB)	社会 (PDF 6.62MB)	国語 (PDF 4.33MB)	社会 (PDF 8.34MB)
算数 (PDF 4.89MB)	理科 (PDF 3.53MB)	数学 (PDF 3.62MB)	理科 (PDF 4.37MB)
生活 (PDF 3.40MB)	音楽 (PDF 3.68MB)	音楽 (PDF 8.20MB)	美術 (PDF 3.56MB)
図画工作 (PDF 4.68MB)	家庭 (PDF 4.90MB)	保健体育 (PDF 5.21MB)	技術家庭 (PDF 6.87MB)
体育 (PDF 4.86MB)	外国語 (PDF 3.55MB)	外国語 (PDF 3.85MB)	総合的な学習の時間 (PDF 3.84MB)
総合的な学習の時間 (PDF 3.96MB)	特別活動 (PDF 8.97MB)	特別活動 (PDF 3.20MB)	

評価事例&評価規準例が満載！
新3観点の学習評価
完全ガイドブック



桐蔭横浜大学 スポーツ科学部
学部長 教授 佐藤 豊

九州体育・保健体育ネットワーク研究会
<https://kyushunet.com/?from=m>

「指導と評価の一体化」のための 学習評価に関する参考資料

小学校

体育

「指導と評価の一体化」のための 学習評価に関する参考資料

中学校

保健体育

「指導と評価の一体化」のための 学習評価に関する参考資料

高等学校

保健体育

令和3年8月

これを踏まえ、改善等通知においては、高等学校生徒指導要録に新たに観点別学習状況の評価の記載欄を設けることとした上で、以下のように示されている。

【高等学校生徒指導要録】（学習指導要領に示す各教科・科目の取扱いは次のとおり）

[各教科・科目の学習の記録]

I 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が生徒や地域の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し記入する。その際、

「十分満足できる」状況と判断されるもの：A

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：B

「努力を要する」状況と判断されるもの：C

のように区別して評価を記入する。

II 評定

各教科・科目の評定は、学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が生徒や地域の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を総合的に評価して、

「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの：5

「十分満足できる」状況と判断されるもの：4

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：3

「努力を要する」状況と判断されるもの：2

「努力を要すると判断されるもののうち、特に程度が低い」状況と判断されるもの：1

のように区別して評価を記入する。

評定は各教科・科目の学習の状況を総合的に評価するものであり、「観点別学習状況」において掲げられた観点は、分析的な評価を行うものとして、各教科・科目の評定を行う場合において基本的な要素となるものであることに十分留意する。その際、評定の適切な決定方法等については、各学校において定める。

目標に準拠した評価

目標・学習指導要領の目標

評価規準・・・学習指導要領の内容を参考

(3) 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の基本的な手順

各教科における、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の基本的な手順は以下のとおりである。

学習指導要領に示された教科及び学年（又は分野）の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解した上で、

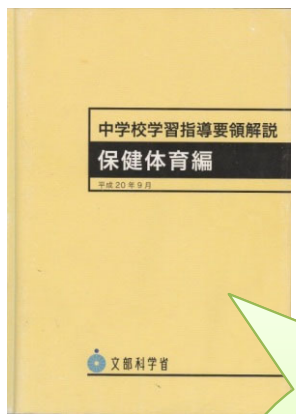
① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する。

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

¹⁵ 各教科等によって、評価の対象に特性があることに留意する必要がある。例えば、体育・保健体育科の運動に関する領域においては、公正や協力などを、育成する「態度」として学習指導要領に位置付けており、各教科等の目標や内容に対応した学習評価が行われることとされている。

学習指導要領(解説)

年間指導計画



学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
第1学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	
第2学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
第3学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105

②指導内容の重点化

①目標、内容、取り扱い

単元の指導と評価の計画

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
第1学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	
第2学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105
第3学年	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105

③単元構造図



教材・教具の開発(主体的・対話的で深い学び)

④教材開発



効果的・効率的な学習評価

⑤学習評価

評価規準

学びの姿、評価方法等



教科の見方・考え方(体育)

各種の運動やスポーツが有する楽しさや喜び及び関連して高まる体力などの視点から、自己の適性等に応じた多様な関わり方を見いだすことができるようになることが、体育分野での学習と社会をつなぐ上で重要なものである。



する、みる、支える、知るなどの
多様な楽しみ方

体育科・保健体育科の学習指導要領

- ◆ 体育科・保健体育科では、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成
- ◆ 小学校から高等学校までの12年間の系統性、発達の段階を踏まえて、4年ごとのまとまりで指導内容を体系化
- ◆ 小学校から高等学校まで、体育科・保健体育科の授業を週3日程度実施

スコアアップ

運動領域等	各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるようにする時期			
	小学校				中学校				高等学校			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	入学年次	次の年次	それ以降
体づくりの運動遊び		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動
器械・器具を使った運動遊び		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動	器械運動	器械運動	器械運動	器械運動
走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸上運動		陸上競技		陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技	陸上競技
水遊び		水泳運動		水泳運動		水泳		水泳	水泳	水泳	水泳	水泳
表現リズム遊び		表現運動		表現運動		ダンス		ダンス	ダンス	ダンス	ダンス	ダンス
ゲーム		ゲーム		ボール運動		球技		球技	球技	球技	球技	球技
								武道	武道	武道	武道	武道
保健領域等				保健		保健		保健	保健	保健	保健	保健
年間授業時数等	102時間	105時間	105時間	105時間	90時間	90時間	105時間	105時間	105時間	体育 3年間で7~8単位 保健 1単位 保健 1単位		

必修 [選択]

シーケンス



それぞれの領域の意味とつながり
佐藤は、体づくり運動と体育理論、保健の充実が肝と考える

- ◆小学校から高等学校までの12年間の系統性、発達の段階を踏まえて、各学年ごとに指導内容を体系化
- ◆小学校から高等学校まで、体育科・保健体育科の授業を週3日程度実施



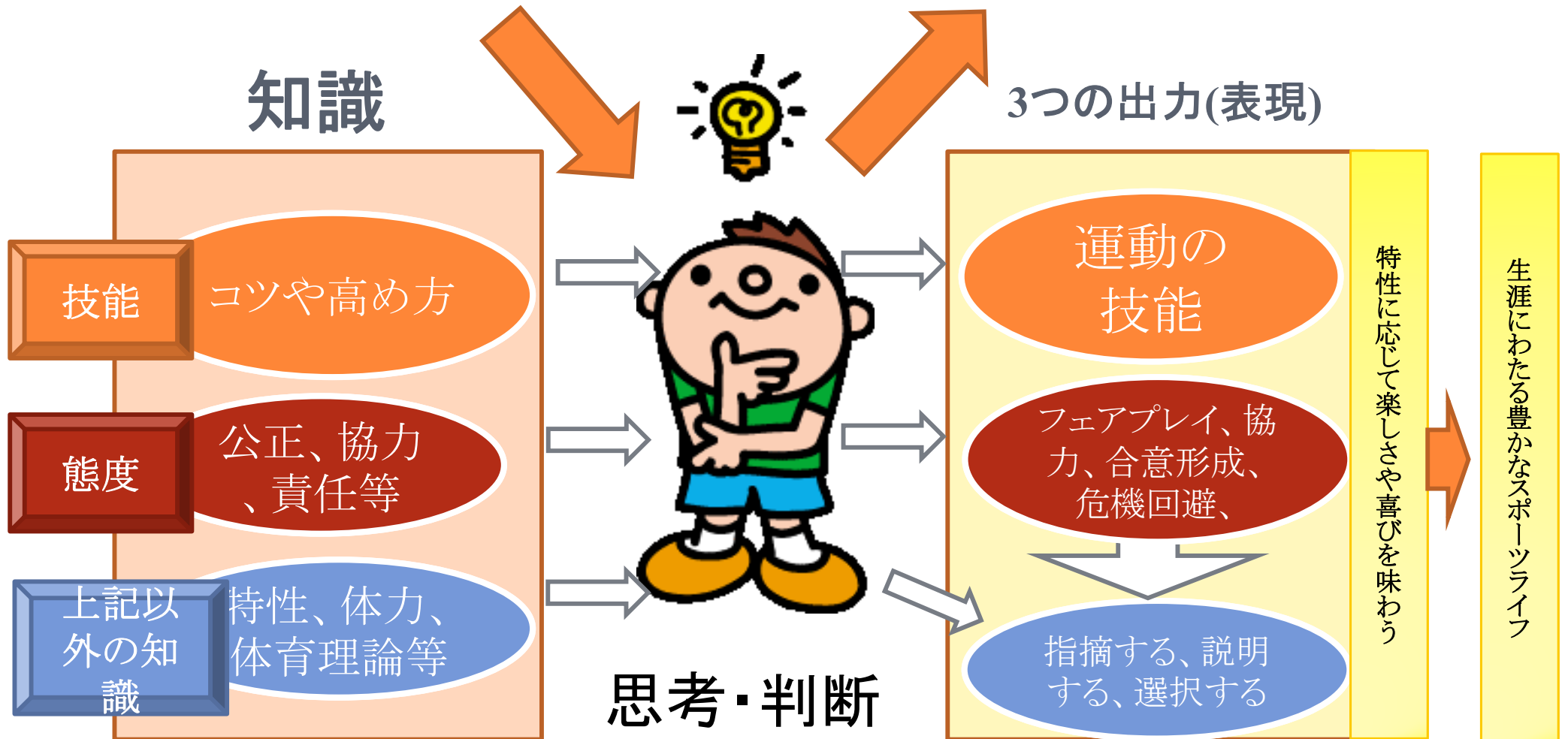
学習したことの意義や価値を実感できるようにする(ア)

体育学習の「わかる」と「できる」 2015,SATO



Input(情報の入力)

Output(情報の出力)



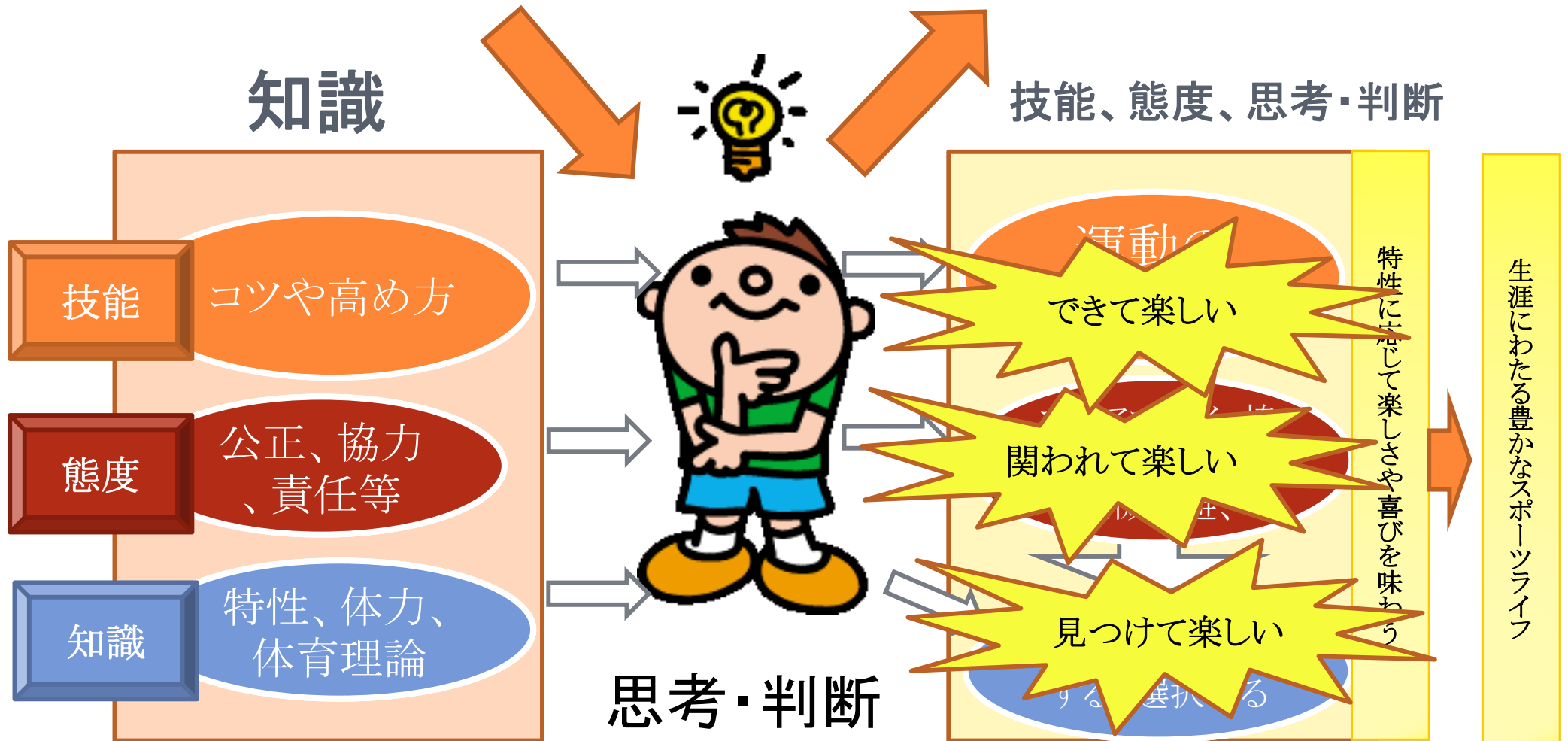
学習したことの意義や価値を実感できるようにする(ア)

体育学習の「わかる」と「できる」 2015,SATO

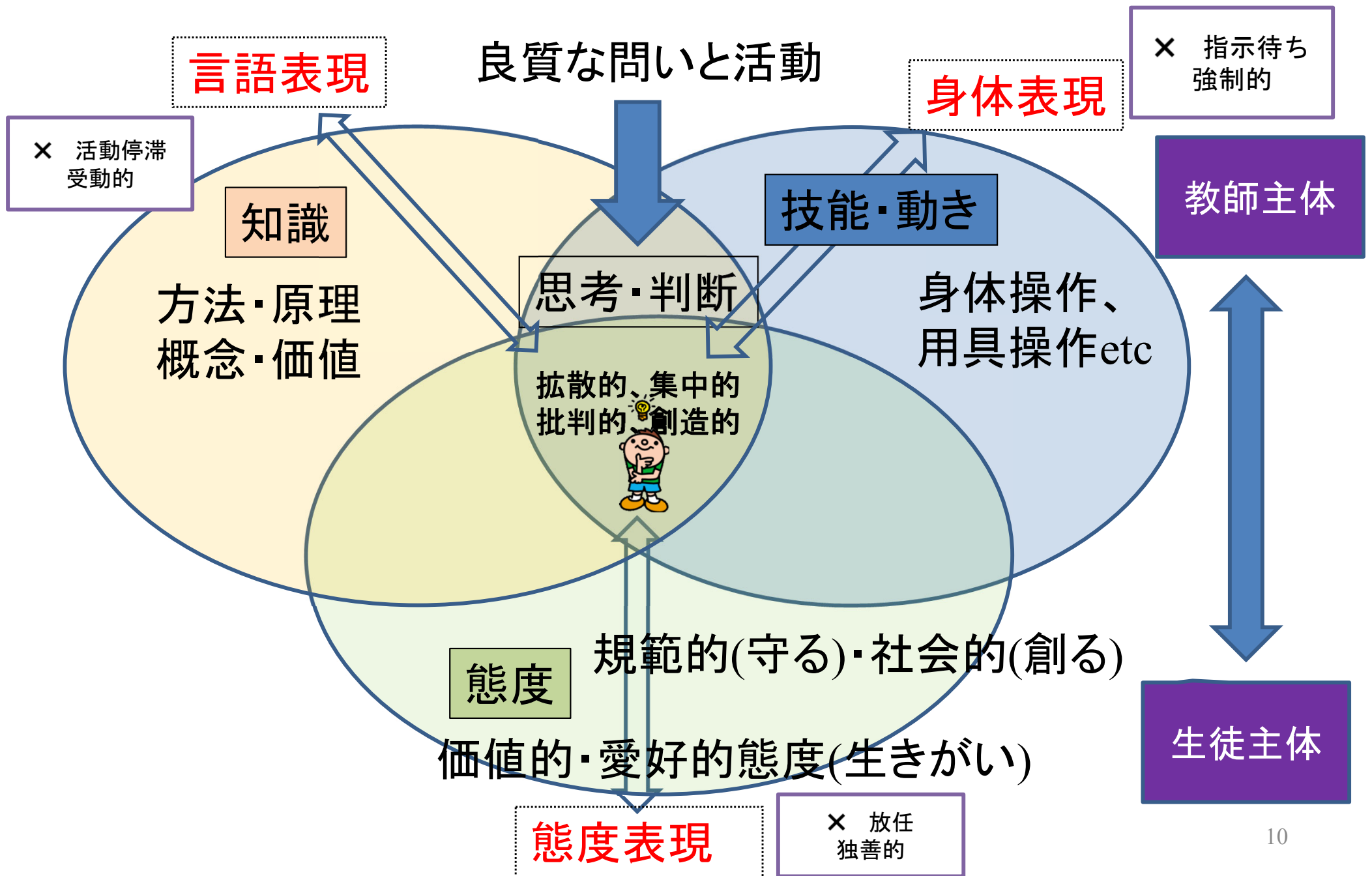


Input(情報の入力)

Output(情報の出力)



体育における深い学習とは？



(3) 学びに向かう力, 人間性等

球技について, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(3) 球技に積極的に取り組むとともに, フェアなプレイを守ろうとすること, 作戦などについての話合いに参加しようとする事, 一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事, 仲間の学習を援助しようとする事などや, 健康・安全に気を配ること。

解説で、評価規準の参考となる例示を示している。

<例示>

- ・ 球技の学習に積極的に取り組もうとすること。
- ・ マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして, フェアなプレイを守ろうとすること。
- ・ 作戦などについての話合いに参加しようとする事。
- ・ 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとする事。
- ・ 練習の補助をしたり仲間に助言したりして, 仲間の学習を援助しようとする事。
- ・ 健康・安全に留意すること。

保健体育科の目標
(3年間の実現目標)

小学校での学習を踏まえて、生涯にわたって運動に親しみ、健康を保持増進するための資質や能力を身につけ、実生活に生かすことができるようにする。
 【体育分野】 第1,2学年では、各運動を体験し、運動の行い方などの知識をもとに基本的な動きができるようになる。
 第3学年では、継続したい運動を選び、仲間と学びあい、自己に適した運動との関わり方を見つめられるようになる。
 【保健分野】 3年間を通して、知識を活用した学習活動を充実する。

学年	時間	4				5				6				7				9				10				11				12				1				2				3			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35									
第1学年及び第2学年	105	オリエンテーション 加算(1)	陸上競技 [8] 短距離・リレー(4) ハードル			① 球技・ゴール型 (バスケットボール・サッカー 選択) 2クラス2展開 [10]				水泳 クロール・平泳ぎのいずれ かを含む2以上選択[10] *外部指導者のTTによる 協力				武道 (柔道・剣道のいずれかを選択) 2クラス2展開[18] *外部指導者のTTによる協力				器械運動 マット運動(9) 跳び箱運動、鉄棒運動、平均台運動よ り1選択(8) [17]				② 球技・ネット型 バレーボール・テニス 選択(8) 2クラス2展開				スケート [6]集中																			
		保健 (1)心身の機能の発達[6]																																											
第2学年	105	陸上競技[8] 跳躍種目選択 走り高跳び・走り高跳 び 2クラス2展開	③ 球技・ネット型 (バレーボール・バドミントン 選択) 2クラス2展開 [10]			水泳 クロール・平泳ぎのいずれ かを含む2以上選択 [10]				④ 球技・ベースボール型 ソフトボール① ソフトボール② [12] 2クラス2展開				ダンス 現代的なリズムのダンス(9) ・フォークダンス(9) 2クラス2展開 [18] *外部指導者のTTによる協力				⑤ 球技・ゴール型 ハンドボール・サッカー選択 [10] 2クラス2展開				スキー [6]集中																							
		保健 (2)健康と環境[8]																																											
第3学年	105	陸上競技・器械運動選択[18] 2クラス3展開 *器械運動選択者は、1種目から4種目選択 *陸上競技は、競走種目と跳躍種目より選択	水泳・ダンス選択 [14] 2クラス3展開 *水泳の選択者で実技がで きない期間は、練習計画等 の作成			球技・武道選択1 *球技選択者は、選択2で再度選択 もしくは武道を選択する[18] 2クラス3展開 球技は、ゴール型、ネット型 武道は、柔道				球技・武道選択2 *武道選択者は、球技の選択も可 [18] 2クラス3展開 球技は、ネット型、ベースボール型 武道は、剣道				スキー [6]集中																															
		保健 (4)健康な生活と疾病の予防 [8]																																											

() 体育館
行
事
場
所

等
調
査
運
動
身
能
力
体
力

野
外
体
験
活
動

集
団
改
用
防
止
教
育

運
動
会

マ
ラ
ソ
ン
大
会

食
育
課
履
会

(3)学びに向かう力・人間性等

各段階で示した「学びに向かう力、人間性等」の主な表記

指導事項	中学校1年・2年	中学校3年・高校入学年次	高校その次の年次以降
ア 共通事項	積極的に取り組もうとする	自主的に取り組もうとする	主体的に取り組もうとする
イ 公正	勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする	勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする	
	フェアなプレイを守ろうとする	フェアなプレイを大切にしようとする	
	相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする	相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする	
ウ 協力・責任	よい演技を認めようとする	よい演技を讃えようとする	
	仲間の学習を援助しようとする	互いに助け合い教え合おうとする	互いに助け合い高め合おうとする
	分担した役割を果たそうとする	自己の責任を果たそうとする	役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする
エ 参画・共生	話合いに参加しようとする	話合いに貢献しようとする	合意形成に貢献しようとする
	一人一人の違いを認めようとする	一人一人の違いを大切にしようとする	
オ 健康・安全	健康・安全に気を配る	健康・安全を確保する	

学びに向かう力、人間性等については、各領域において**愛好的態度及び健康・安全は共通の事項とし、公正（伝統的な行動の仕方）、協力、責任、参画、共生の中から、各領域で取り上げることが効果的な指導内容を重点化して示している。**

健康・安全に関する事項については、意欲をもつことにとどまらず、**実践することが求められていることを強調したものである。**

楽しさや喜び

低学年・・・各種の運動を**楽しく**できるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け → **楽しさに触れ**

中学年・・・各種の運動を**楽しく**できるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け → **楽しさや喜びに触れ**

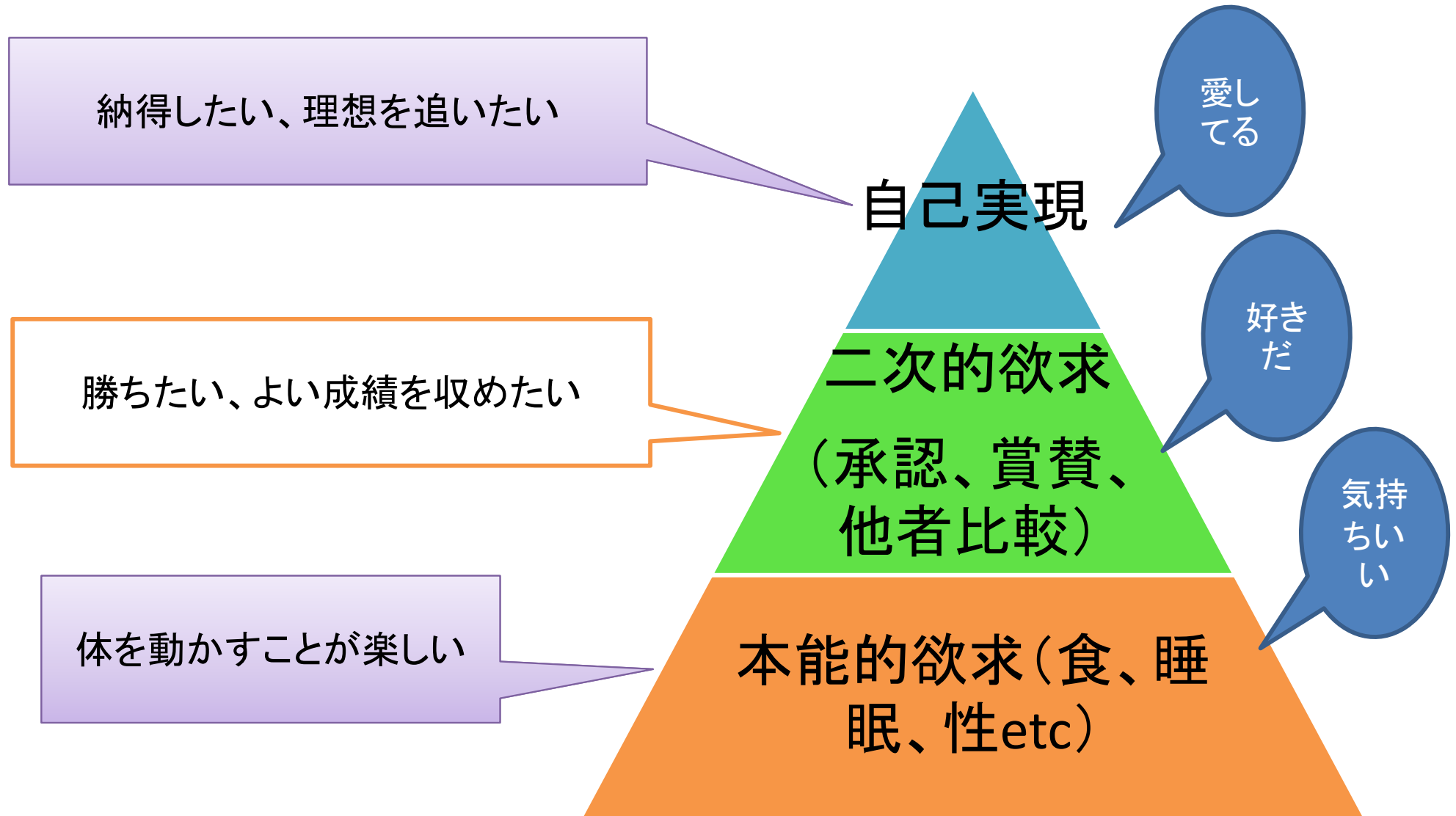
高学年・・・各種の運動の**楽しさや喜び**を味わうことができるようにするとともに、その**特性**に応じた基本的な技能を身に付け、 → **楽しさや喜びを味わい**

中学校 「運動の**楽しさや喜び**を味わうことができるようにする」とは、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、運動を**楽しんだり**、その**運動のもつ特性や魅力に触れたり**すること

楽しさ・・・体を動かす心地よさ

喜び・・・運動特性に触れる喜び

楽しさを深く味わうために



体育学習の 態度の検討

わくわく、どきどき、楽しむ、挑戦する力

内在的

生きがい
QOLにつながる
価値

総合型地域スポーツクラブがあれば、こんな夢が実現します。

あなたたちでは、地域のスポーツ活動の将来像をどのように描いていますか。そのために、どんなクラブを創ろうと考えていますか。



人間形成から見た スポーツの価値

社会を守る
力

よりよい社会
をつくる

規範性、公平性
ルール遵守
(健康・安全の確保)

道徳性
マナー

外在的

多様性、社会参画、問題
解決、創造、合意形成
(協力、参画、共生)

資質・能力の3つの柱を育成する授業づくり

①カリキュラムマネジメント(年間計画)

指導内容の重点化と3年間の見通し

②単元計画(単元構造図)

技能と態度のもととなる知識の確実な指導、
学習機会、形成的評価、バックワードデザイン

③領域の特性、生徒の実態、地域の文化を生かした習得、活用、探究のデザイン

ネット型(バレーボール) の簡易単元構造図 高校:次の年次以降

学習目標

- (技能) ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開することができるようにする。
- (態度) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。
- (知・思) 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	時間外の学習				
学習の流れ	10	出席確認、健康把握、準備運動															1) 健康・安全の確保の講義から、バレーボールで起きやすい怪我、予防のための補強運動の仕方、チーム練習時の約束等をまとめる。 2) 6時間目までのボール操作の学習を受けて、自身の技能上達のための練習プランを作成する。 3) 8時間目までのゲームの経験を通して、チームの長所と短所を分析する 4) ローテーション毎の移動の仕方について、作戦計画あらかじめ立てる。 5) 毎時の学習カードを指定の日時まで提出する。				
	20	オリエンテーション	動きづくりの反復メニュー①(二人組のパス)				動きづくりの反復メニュー②(二人組のパス、サーブ、対人パス、チームで行う反復練習)				一度のみワンバンド可能なルールでのリーグ戦		ボールを持たない動き①守備位置の移動		攻撃のためのチーム作戦のための練習			経験者がセッター、リベロの役割を果たし、空間を作り出して攻撃を展開するゲーム			
	30	①サーブ	知識・技能				課題発見・方法				④守備の移動		課題発見・方法		課題						
	40	②協力	ラリー重視の試しのゲーム				ラリー重視のゲーム				ラリー重視のゲーム				女子のみスパイク可能ゲーム			サーブ・レシーブゲーム		スパイクから始まる5本交代のゲーム	
	50	整理運動、振り返り																仲間に伝える		仲間に伝える	
評価	関意態			③		②										①	学習ノート、観察 学習ノート 観察 学習ノート				
	思・判								①		②			③		総括的評価					
	技能				①	②	③			④											
	知識	②	①サーブ	①レシーブ	①スパイク	③課題解決	①守備位置														

図2 本事例における態度②「一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。」の実現状況を判断する目安と想定される様相の検討例

態度②「一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。」に関連する学習指導要領解説の表記及びキーワード等を踏まえ、観察及び態度のもととなる知識の記載、単元中の行動の変化等の視点から判断の目安等を作成

場面	実現状況	判断の目安	想定される様相
①1時間目 オリエンテーションにおける共生の意義及び具体的な取組例の提示(学習カードによる理解状況の確認) ②2時間目 「身近な生活や日常動作」における他者の受け入れの様子を評価【態度：観察】(観察評価:特に、努力を要する状況(C)の発見と手立て) ③9時間目 3～8時間目の活動における共生の視点からの自身の成果及び課題に着目した指導の充実及び評価【思考・判断・表現：学習カード】 ④総括的な評価における共生の視点の実現状況の最終確定【態度：個別評価の修正】(授業中の変化についての加減状況を踏まえた最終変更の確定)	「十分満足できる」状況(A)	○共生の意義を踏まえ、互いの違いを生かそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> 共生の視点から、他者が受け入れやすい動きを提示したり、自身が困難な動きに挑戦したりするなど、単元を通して共生の視点への定着が見られる。 ※取り入れようとする、生かそうとする、定着している
		○共生の意義を踏まえ、互いの違いに配慮しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 自身が実現困難な動きでも対応しようとする変化が見られる。 共生の意義及び自身の行動に対しての具体的記述が確認され、行動が表出される。 ※気遣おうとする、尊重しようとする、建設的に考えようとする
<div style="text-align: center;">↓</div> <p>共生についての評価は、2時間目に全体の観察評価を行うが、主に、「努力を要する状況(C)」を優先して見出すようにしている。 その後の授業中の働きかけや、関連する思考力、判断力、表現力等の指導も加味して、実現状況の個別評価の修正を行う。</p>	「おおむね満足できる」状況(B)	○共生の意義を理解し、互いの違いを受け入れようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 共感している様子は確認できないが、意義を理解し自己と他者の違いを受け入れている。 共生の意義は理解し、自己と他者の違いを受け入れているが、単元の中では、消極的な姿勢も時折見られる。 他者の動きをまねるなどの動作に消極さがみられたが、教師の手立てや自身の振り返りや他者のアドバイスから後半の活動での思いを統制するなどして取り組む様子が確認される。 ※知識を規範に行動する、思いを統制する、受け入れる
		<ul style="list-style-type: none"> ○共生の意義やとるべき行動は理解しているが、理解に基づく行動が確認されない。 ○共生への意義やとるべき行動への理解が不十分で、受け入れようとする行動が見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> 共生の意義は理解しているが、自己の意見や感情の起伏が勝ってしまうなど、教師のアドバイスに対しても、消極的な姿が継続し、教師の働きかけに対しても、受け入れる発言や態度が見られない。 ※逃避する あきらめる 敬遠する
	「努力を要する」状況(C)	○共生への理解不足が見られ、他者の意欲を低下させる影響を及ぼしている。	<ul style="list-style-type: none"> 共生への意義やとるべき行動への理解が不十分で、他者の意欲を低下させる発言や態度をとる。 教師が働きかけを行っても、他者の意欲を低下させる発言や行動が継続する。 ※嫌悪する 否定する 拒否する



エキスパートグループ

① 出ばな小手グループ



② 面抜き胴グループ



③ 小手抜き面グループ



ジグソーグループ

